

民間伝承にみる牛蒡ごぼうの利用法

桜井女子短大 富岡典子

〔目的・方法〕 わが国の栽培作物のひとつである牛蒡は、古来より、わが国独自の生活文化を形成してきたといえる。

そこで、わが国において牛蒡がどのようにして定着したのかを探る方法のひとつとして、本報では民間に伝承される利用法を中心に、現存する資料および聞き取り調査から検討してみたいと考える。

〔結果〕 民間に伝承されている牛蒡の利用法は、料理（たたきごぼう、きんぴらごぼう、餅・だんごの香り味、魚介類・獣鳥肉類の臭み消しなど）として、滋養・薬用（母乳の出がよくなる、利尿、便秘、湿疹など）として、贈答品・献上品として、正月の注連飾り（牛蒡め）として、さらには祭事の供物（秋祭り、正月祭事、牛蒡喰行事など）として用いられていた。